

公立大学法人福島県立医科大学附属病院
クリニカルインディケーター

[平成26年度～平成29年度]

平成30年8月

(目次)

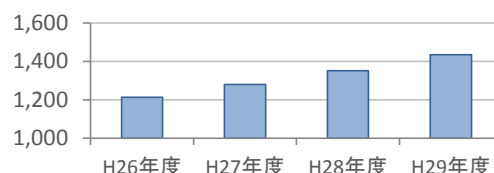
経営管理指標	_____	P.2
高度な医療の提供に関する指標（全体）	_____	P.5
高度な医療の提供に関する指標（診療科別）	_____	P.8
救急医療に関する指標	_____	P.24

<経営管理指標>

1 医療従事者数

単位：人

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	1,213	1,280	1,351	1,435

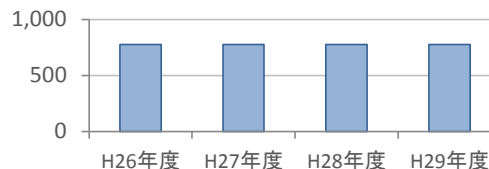


附属病院に勤務する職員のうち事務職員、研修医を除いた数です。

2 病床数（許可病床数）

単位：床

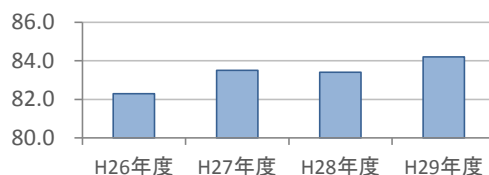
年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	778	778	778	778



3 病床稼働率（一般病床）

単位：%

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	82.3	83.5	83.4	84.2

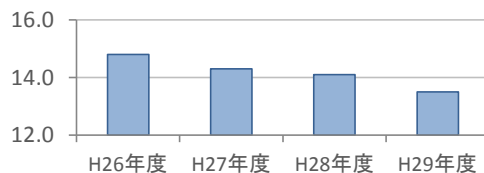


病院のベッド（病床）がどの程度稼働しているかを示す指標であり、100%に近いほど未使用の病床が無い状態です。ここでは一般病床（精神病床、結核病床、感染病床を除く）の病床稼働率を示しています。

4 平均在院日数

単位：日

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	14.8	14.3	14.1	13.5

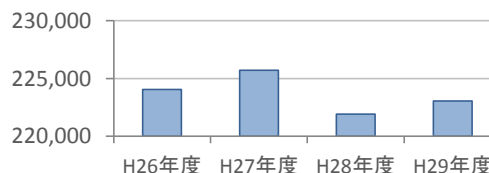


入院してから退院するまでの日数の平均値です。
 $\text{入院延べ患者数} \div \{ (\text{新入院患者数} + \text{退院患者数}) \div 2 \}$ で計算します。

5 入院延べ患者数

単位：人

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	224,066	225,718	221,910	223,065

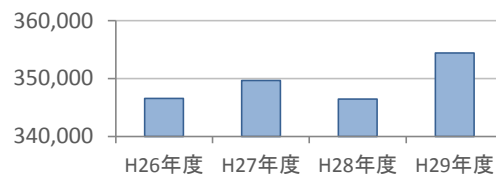


当院で入院診療を受けられた患者数の推移を示す指標です。当日末在院患者数と退院患者数の合計になります。

6 外来延べ患者数

単位：人

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	346,536	349,684	346,475	354,415

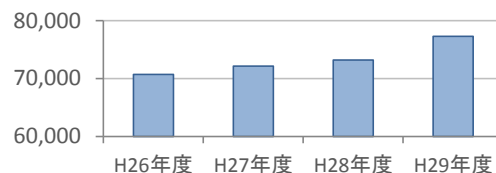


当院で外来診療を受けられた患者数の推移を示す指標です。初診患者数と再来患者数の合計になります。

7 入院診療単価

単位：円

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	70,700	72,166	73,188	77,289

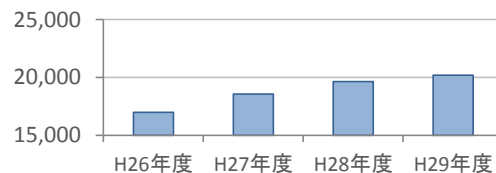


入院患者1人1日あたりの入院診療稼働額です。

8 外来診療単価

単位：円

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	16,972	18,553	19,649	20,203

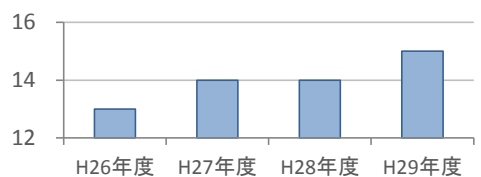


外来患者1人1日あたりの外来診療稼働額です。

9 診療材料費率

単位：%

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	13	14	14	15

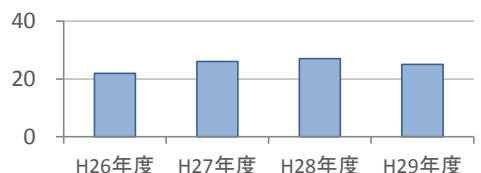


営業収益に対する診療材料費の比率です。

10 医薬品費率

単位：%

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	22	26	27	25

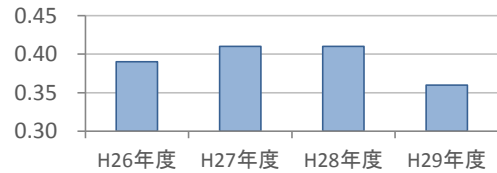


営業収益に対する医薬品費の比率です。

11 査定率

単位：%

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	0.39	0.41	0.41	0.36

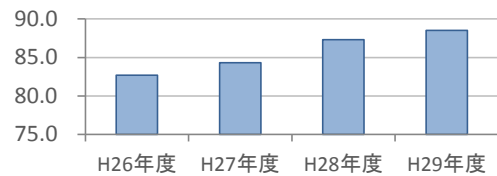


レセプト（保険診療について、医療機関が保険者（市町村や健康保険組合等）に請求する医療報酬の明細書）の査定状況を示す指標です。保険診療減額査定額÷保険診療額×100で求めます。

12 紹介率

単位：%

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	82.7	84.3	87.3	88.5

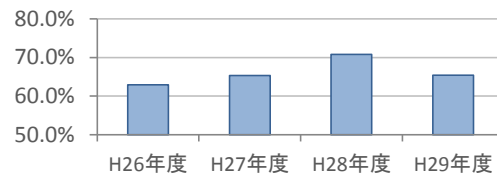


当院を受診した患者さんのうち、他の医療機関から紹介されて来院した患者さんの割合です。地域の病院・診療所との連携強化を図っており、増加傾向にあります。

13 逆紹介率

単位：%

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	62.9%	65.3%	70.8%	65.4%



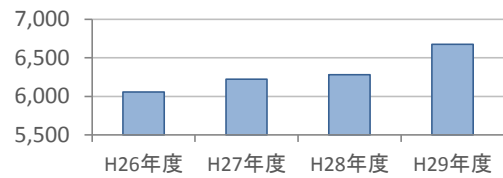
当院から他の医療機関に紹介した患者さんの割合です。

高度な医療の提供に関する指標（全体）

14 手術室における手術件数

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	6,055	6,225	6,280	6,677

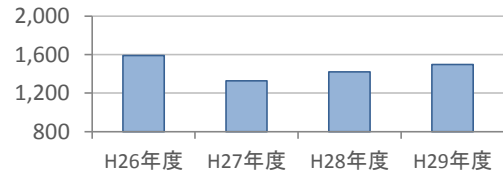


平成29年10月以降の手術室、手術枠増による影響です。

15 臨時（緊急）手術件数

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	1,590	1,328	1,421	1,497

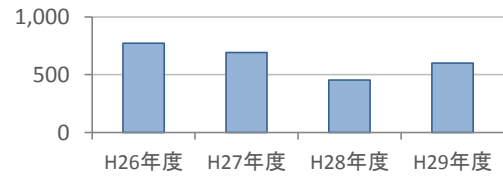


「14 手術室における手術件数」のうち、予め予定されていない臨時（緊急）手術の件数です。予定外の手術を常に行える体制であることを示します。

16 重症患者の全身麻酔手術件数

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	773	692	453	602

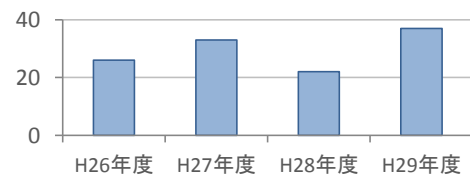


この指標では、医科点数表における「麻酔困難な患者」を重症患者としています。

17 出生時体重1500グラム未満の新生児数

単位：人

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	26	33	22	37

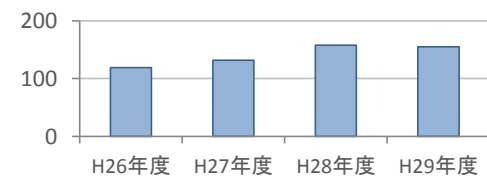


出生時の体重が1,500グラム未満の新生児を極低出生体重児といい、新生児特定集中治療室（NICU）での特別な治療が必要になります。高度な設備・スタッフを常時配置する必要があり、極めて重症度の高い周産期の患者を受け入れていることを示します。

18 新生児特定集中治療室（NICU）実患者数

単位：人

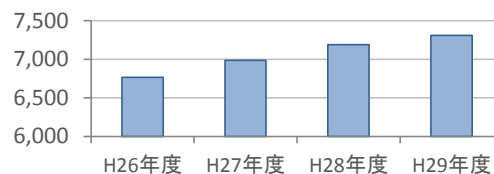
年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	119	132	158	155



19 組織診病理診断件数

単位：件

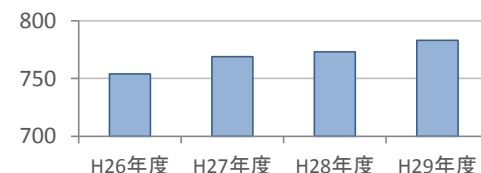
年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	6,767	6,986	7,191	7,311



20 術中迅速病理件数

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	754	769	773	783

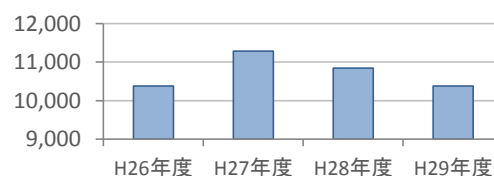


術前診断の難しい症例の場合、手術中に病理診断を行い手術範囲や手術方法を選択する必要があります。限られた時間の中で迅速かつ正確な病理診断を行える体制であることを示します。

21 薬剤管理指導料算定件数

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	10,380	11,284	10,847	10,376

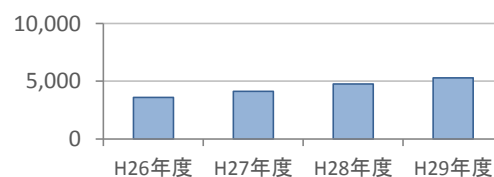


医師の指示に基づき薬剤師が直接入院患者の服薬指導を行うものであります。有効かつ安全に薬物療法が行われていることを担保する指標です。

22 外来で化学療法を行った延べ患者数

単位：人

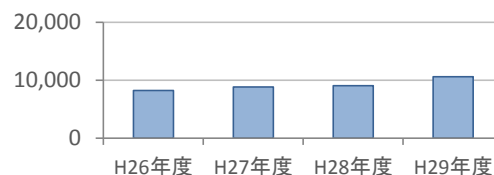
年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	3,609	4,114	4,771	5,298



23 無菌製剤処理料算定件数

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	8,227	8,864	9,086	10,588

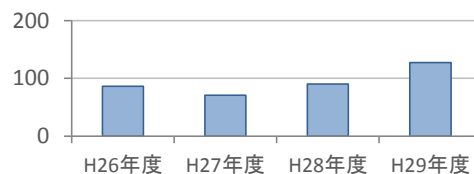


無菌製剤処理とは、無菌室、クリーンベンチ、安全キャビネット等の無菌環境において、無菌化した器具を用いて、製剤処理を行うことをいいます。高度かつ適切な薬物治療を提供していることを示します。

24 II度以上の褥瘡の新規発生件数

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	86	71	90	127

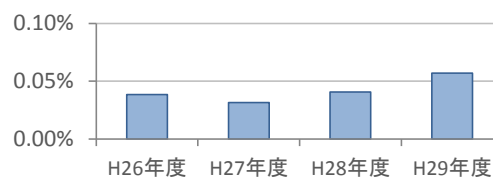


入院後にII度以上（日本褥瘡学会「DESIGN-R」による深さの基準）の褥瘡が新規発生した件数です。褥瘡の発生はQOLを低下させる要因となり、他の疾患に対する治療にも影響を与えます。発生予防が重要であり、褥瘡対策に関する診療計画に基づいて、適切な褥瘡対策を行っていくことが求められます。

25 II度以上の褥瘡の新規発生率

単位：%

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	0.04%	0.031%	0.041%	0.057%



「24 II度以上の褥瘡の新規発生件数」÷入院延べ患者数で求めます。

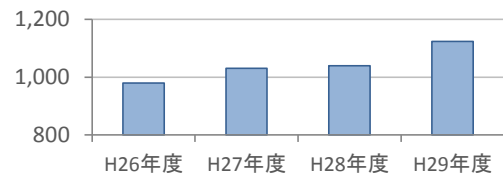
高度な医療の提供に関する指標（診療科別）

26 心臓カテーテル検査件数

（循環器内科）

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	980	1,030	1,039	1,123



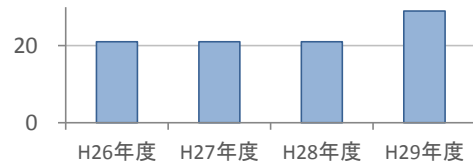
24時間、365日、緊急対応をしています。

27 造血幹細胞移植の実施症例数

（血液内科）

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	21	21	21	29



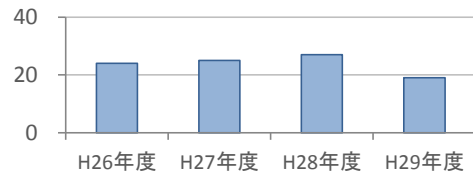
2017年の造血幹細胞移植は29件、内24件が同種移植。HLA半合致移植が3件です。

28 ラジオ波焼灼術の実施症例数

（消化器内科）

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	24	25	27	19



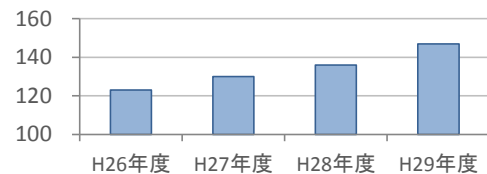
肝細胞癌に対する治療です。焼灼することにより高い治癒効果が得られる手術です。

29 超音波内視鏡下穿刺吸引細胞診（EUS-FNA）実施症例数

（消化器内科）

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	123	130	136	147



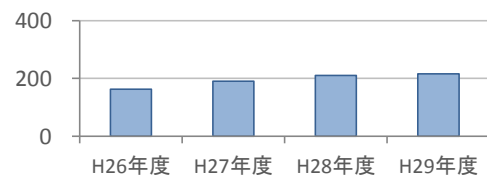
膵腫瘍や消化管粘膜下腫瘍等、直接生検できない腫瘍をFNAを用いて検査（病理診断）を行います。

30 内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）症例数

（消化器内科）

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	163	190	210	216



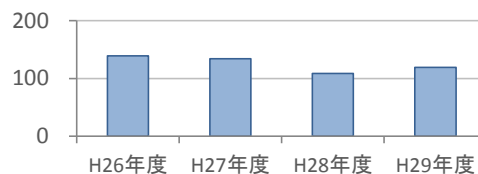
内視鏡的に粘膜内の早期癌であれば、比較的大きな症例も切除（外科的）せずに治療しています。

31 TACE（肝動脈化学塞栓術）の実施症例数

（消化器内科）

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	139	134	109	119



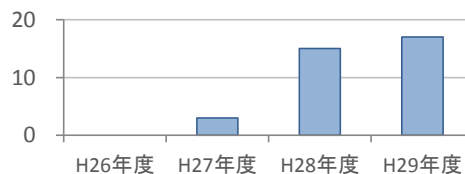
カテーテルで肝細胞癌に対して抗癌剤などを注入し、動脈血流を遮断することで壊死させる治療です。大きなもの及び多数存在するなど進行した肝細胞癌に対しても積極的に治療しています。

32 POEM（経口内視鏡的筋層切除術）の実施症例数

（消化器内科）

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	-	3	15	17



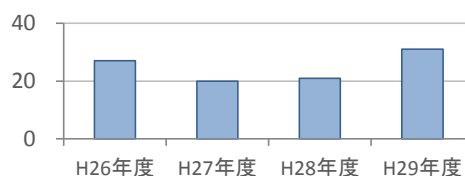
食道アカラシアの内視鏡的治療です。

33 消化管ステント挿入術の実施症例数

（消化器内科）

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	27	20	21	31

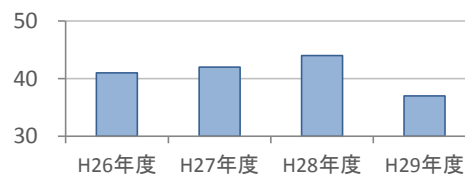


34 EMS（内視鏡的胆管金属ステント留置術）の実施症例数

（消化器内科）

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	41	42	44	37



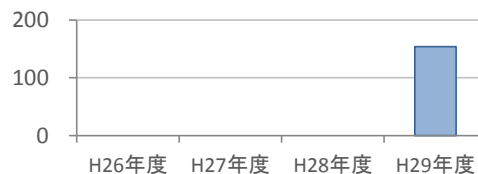
悪性胆管狭窄（胆管癌、膵癌）に対する内視鏡的ドレナージ術です。

35 全身性エリテマトーデスの患者数

（リウマチ・膠原病内科）

単位：人

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	-	-	-	154



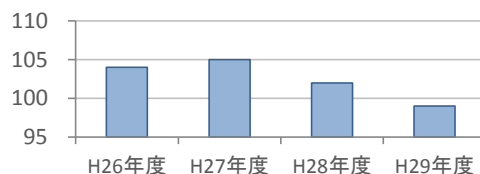
生物学的製剤など新規の治療方法を導入しています。

36 腎生検症例数

(腎臓・高血圧内科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	104	105	102	99

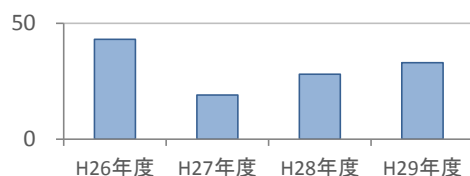


37 原発性アルドステロン症の患者数

(糖尿病・内分泌代謝内科)

単位：人

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	43	19	28	33



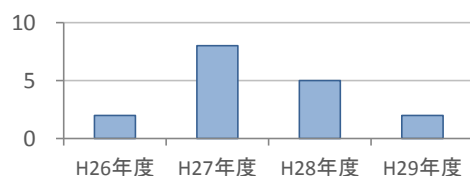
高血圧精査、副腎静脈サンプリング目的の入院患者数です。

38 クッシング症候群の患者数

(糖尿病・内分泌代謝内科)

単位：人

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	2	8	5	2



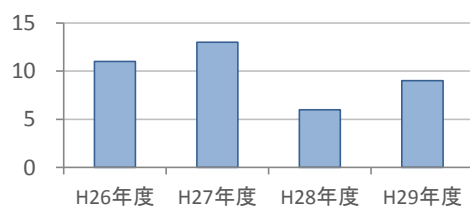
副腎性クッシング症候群の患者数です（下垂体性は除きます。）。

39 褐色細胞腫の患者数

(糖尿病・内分泌代謝内科)

単位：人

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	11	13	6	9



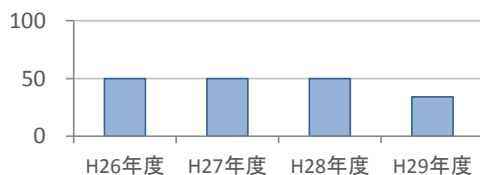
悪性褐色細胞腫に対する、化学療法目的の入院患者は除きます。

40 磁気刺激による中枢伝導検査

(神経内科)

単位：人

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	50	50	50	34



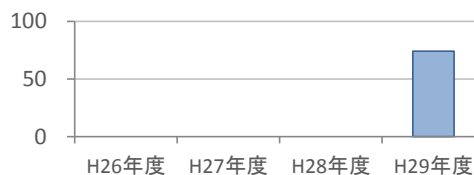
神経疾患の運動経路（錐体路）の異常を調べるための検査です。

41 針筋電図診断数(平成29年度からの新規指標)

(神経内科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	—	—	—	74



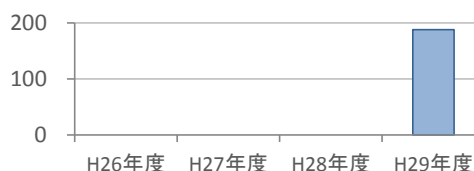
神経筋疾患の診断のための検査です。

42 神経伝導速度検査数(平成29年度からの新規指標)

(神経内科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	—	—	—	188



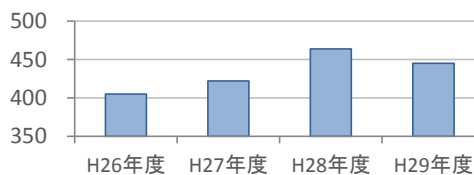
末梢神経障害診断のための検査です。

43 年間呼吸器内視鏡実施件数

(呼吸器内科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	405	422	464	445



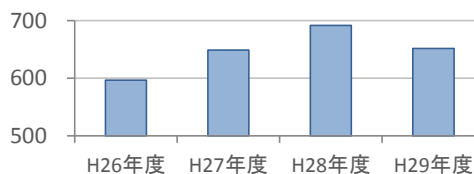
確定診断として必要な経気道的、病理組織的精査を行います。バーチャルナビゲーションシステムや超音波検査を補助装置として使用しています。

44 呼気中一酸化窒素濃度測定

(呼吸器内科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	597	649	692	652



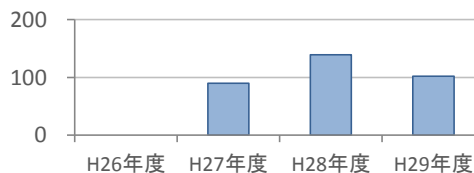
気管支喘息の診断において有用な非侵襲的検査法です。

45 腫瘍内科年間新規相談患者数

(腫瘍内科)

単位：人

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	—	90	139	102



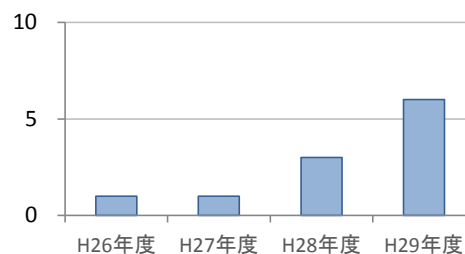
再診件数を含めず、初診件数のみを計上します。

46 難病指定患者数

(漢方内科)

単位：人

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	1	1	3	6

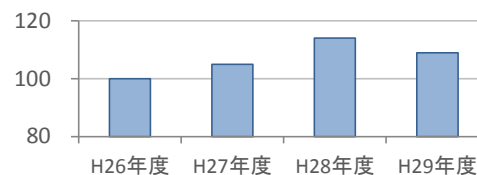


47 肺癌手術症例数

(呼吸器外科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	100	105	114	109

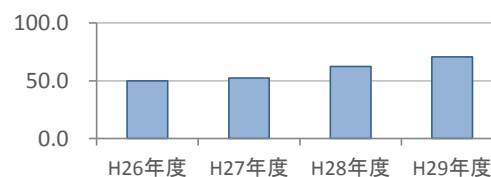


48 肺癌手術症例数のうちの胸腔鏡手術の割合

(呼吸器外科)

単位：%

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	50.0	52.3	62.2	70.6

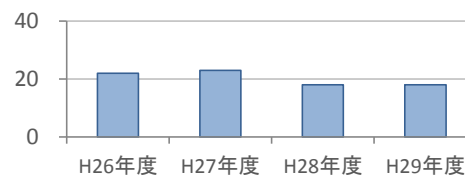


49 縦隔腫瘍手術

(呼吸器外科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	22	23	18	18

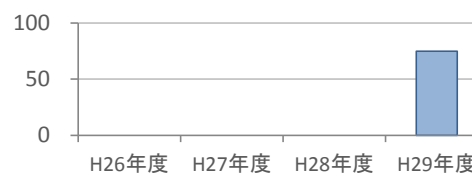


50 消化管癌に対する鏡視下手術の実施率(平成29年度からの新規指標)

(消化管外科)

単位：%

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	—	—	—	75

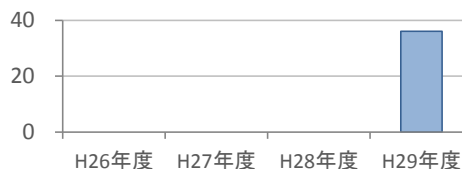


51 食道癌手術例数(平成29年度からの新規指標)

(消化管外科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	—	—	—	36

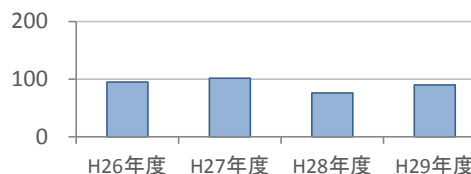


52 肝胆膵悪性腫瘍切除手術の症例数

(肝胆膵・移植外科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	95	102	76	90



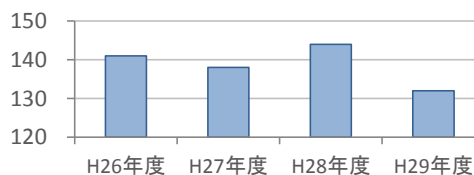
肝胆膵悪性腫瘍手術に対する手術は、高難度手術に認められており、高難度手術を実施可能な医師の確保と手術・体制の整備がされていることを示します。

53 乳癌の手術症例数(平成29年度からの新規指標)

(乳腺外科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	141	138	144	132



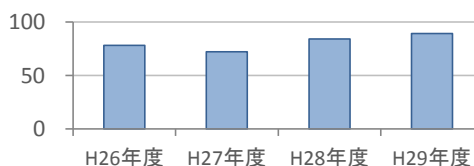
センチネルリンパ節の転移状況で腋窩リンパ節郭清を省略するナビゲーションサージェリーを導入しています。

54 乳癌のセンチネルリンパ節生検症例数(平成29年度からの新規指標)

(乳腺外科)

単位：例

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	78	72	84	89

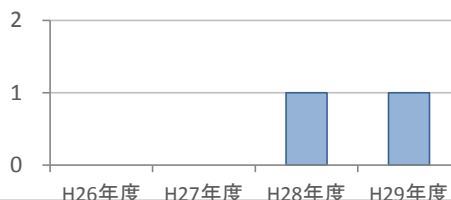


55 甲状腺クリーゼの症例数

(甲状腺・内分泌外科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	—	—	1	1



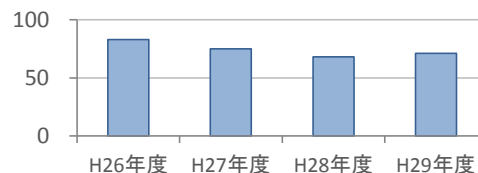
甲状腺中毒症が重傷となり、生体の代償機構の破綻により複数の臓器が機能不全に陥った結果生命の危機に直面した、緊急治療を要する病態です。

56 甲状腺癌手術症例数

(甲状腺・内分泌外科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	83	75	68	71



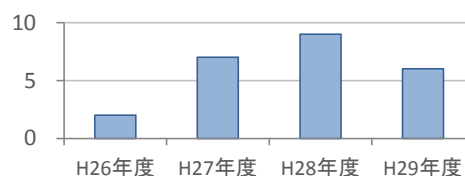
初発例と再発例を合わせた症例数です。

57 副甲状腺内視鏡手術数

(甲状腺・内分泌外科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	2	7	9	6

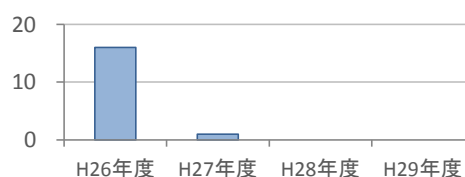


58 副腎静脈サンプリング検査数

(甲状腺・内分泌外科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	16	1	0	0

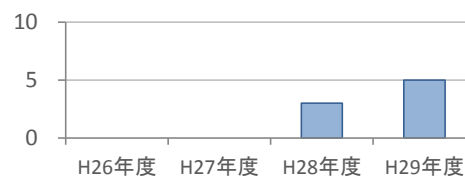


59 ラジオガイド下甲状腺副甲状腺手術数

(甲状腺・内分泌外科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	-	-	3	5

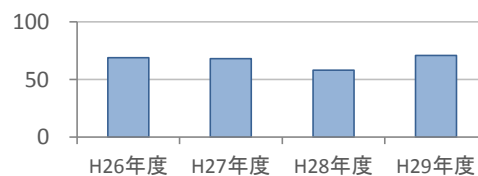


60 術中神経モニタリング数

(甲状腺・内分泌外科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	69	68	58	71



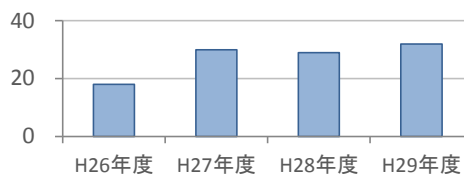
頸部悪性腫瘍手術での反回神経や上喉頭神経麻痺を極力防ぐために使用します。

61 新生児手術件数

(小児外科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	18	30	29	32



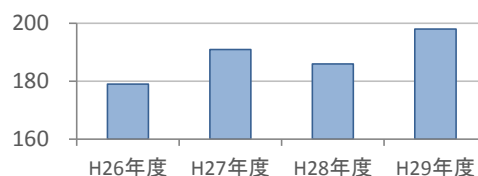
重症度、緊急度ともに高く高度な技術と豊富な知識・経験が、治療に求められます。

62 心臓胸部大血管手術件数

(心臓血管外科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	179	191	186	198

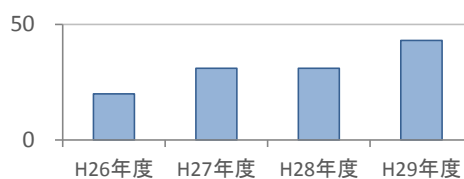


63 腹部大動脈手術件数

(心臓血管外科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	20	31	31	43



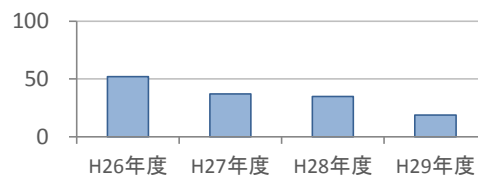
腹部大動脈人工血管置換術及び腹部ステントグラフト内挿術です。

64 静脈瘤手術（レーザー治療を含む）件数

(心臓血管外科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	52	37	35	19

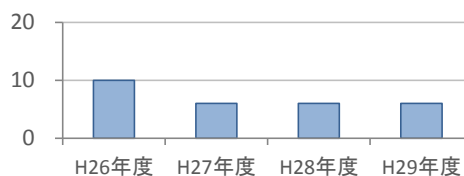


65 多科合同手術数件数

(脳神経外科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	10	6	6	6



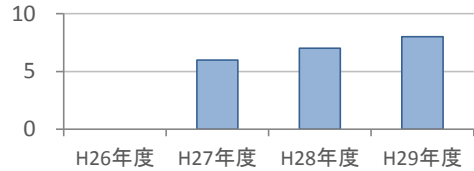
多分野に及ぶ難しい手術を遂行でき、他科との良好な協力関係があることを示します。耳鼻科、眼科及び形成外科との合同で広範囲頭蓋低腫瘍切除再建術や、形成外科と合同で行う、小児奇形の手術など、難易度の高い手術を集計しています。

66 覚醒下脳腫瘍摘出術数

(脳神経外科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	-	6	7	8



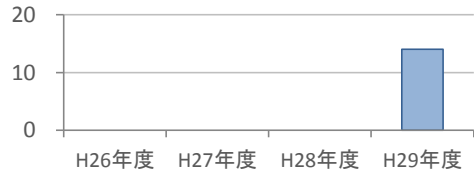
手術中に患者を覚醒させ、言語機能や高次脳機能を確認しながら行う手術です。脳神経外科医、麻酔科医、言語聴覚士など高度な専門家が揃っていること、高次機能を残す必要があるような難しい手術を遂行できることを示します。

67 術中MRIを用いた手術件数(平成29年度からの新規指標)

(脳神経外科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	-	-	-	14



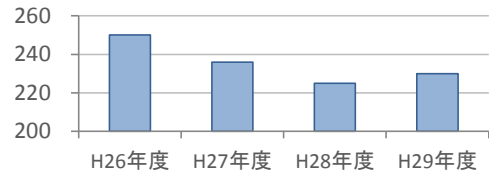
手術中にMRIを撮影して、正確なナビゲーションの下で病変を確認しながら、手術ができる体制であることを示します。当院では3TのMRIを備えており、脳白質線維連絡など専門画像も撮影ができます。

68 脊椎手術件数

(整形外科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	250	236	225	230

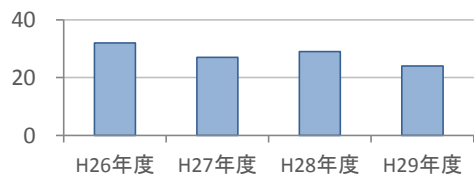


69 マイクロ下遊離組織移植の実施症例数

(形成外科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	32	27	29	24



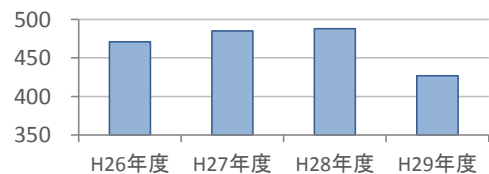
複雑な組織欠損の対して、高度な手術により顕微鏡下での遊離組織移植による再建が可能であることを示します。特に昨年度は高難度な部分移植（3件）、超薄皮弁移植（2件）を含みます。また同日に2件手術を行った実績が3回あります。

70 分娩件数

(産婦人科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	471	485	488	427

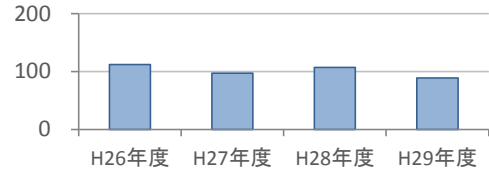


71 緊急帝王切開分娩数

(産婦人科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	112	97	107	89



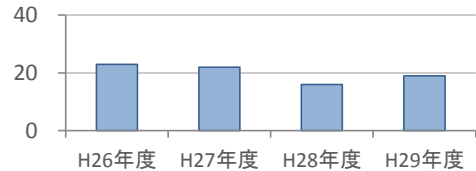
診療時間内外を問わず、妊婦・胎児の状態の急変時に帝王切開分娩の対応が常時できる体制であることを示します。(深夜や時間外、及び超緊急も含まれます)

72 広汎子宮全摘手術の実施症例数

(産婦人科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	23	22	16	19

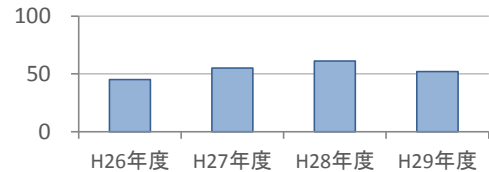


73 胎児心臓超音波検査

(小児科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	45	55	61	52



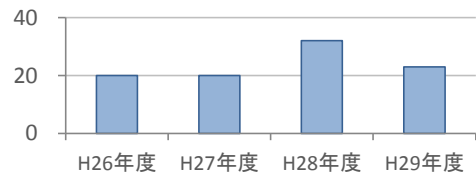
胎児の先天性疾患や不整脈を診断する検査であり、心疾患児の予後の改善に寄与します。

74 新規小児がん治療件数

(小児腫瘍内科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	20	20	32	23



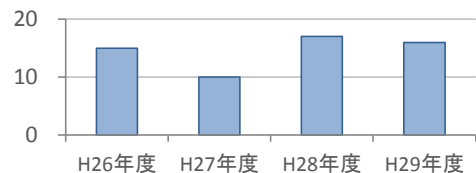
新規に発症した小児癌患者数であり、大部分は全国共通の臨床試験に登録し、治療が行われます。施設の治療体制の整備状況を示す指標となります。

75 再発・難治性小児がん治療件数

(小児腫瘍内科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	15	10	17	16



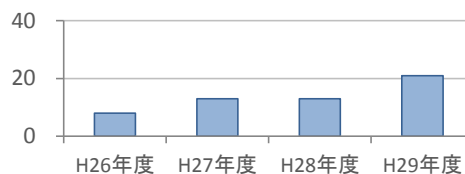
初回治療後に再発した小児癌患者数であり、非常に治癒困難な症例が多いため、施設の臨床経験や先進的治療レベルを示します。

造血細胞移植件数

(小児腫瘍内科)

単位：件

76	年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
	値	8	13	13	21



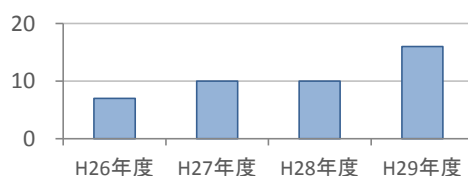
病院全体の医療レベルを示す指標となります。

77 ハプロ移植件数

(小児腫瘍内科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	7	10	10	16



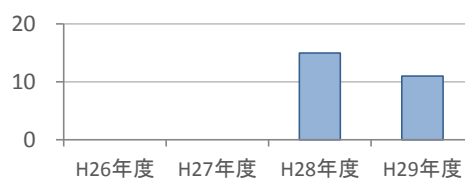
国内外で安全に、良好な治療成績を報告しているのは当院のみであり、新たな免疫細胞療法として、注目されている医療です。

78 陽子線治療件数

(小児腫瘍内科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	-	-	15	11



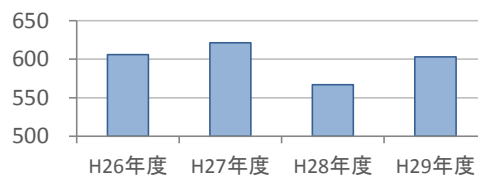
国内で実施可能な施設は、11施設です。小児癌に対する医療レベルの指標です。

79 硝子体切除術件数

(眼科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	606	621	567	603

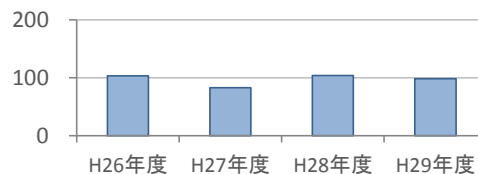


80 18才以下眼科手術件数(平成29年度からの新規指標)

(眼科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	103	83	104	98

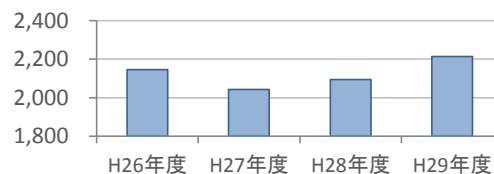


81 年間紹介患者数（他院から眼科）（平成29年度からの新規指標）

（眼科）

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	2,146	2,042	2,094	2,213

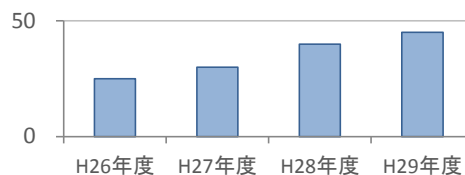


82 乾癬治療における生物学的製剤使用患者数

（皮膚科）

単位：人

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	25	30	40	45



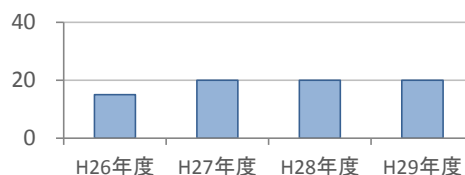
通常乾癬に対する生物学的製剤による治療は、日皮膚科学会が認定した皮膚科専門医がいて、かつ呼吸器内科など連携できる科がある病院のみで行われています。県内でも数症例のみです。

83 円形脱毛症における局所免疫療法施行患者数(平成29年度からの新規指

（皮膚科）

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	15	20	20	20



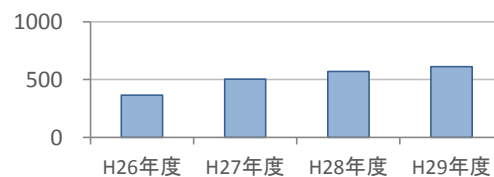
県内で脱毛症に対する局所免疫療法を行っている病院は数病院しかなく、保険適応がない治療ですが、公立の病院が受け持つ役割として現在も継続中です。

84 泌尿器科手術の実施症例数

（泌尿器科・副腎内分泌外科）

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	364	504	571	611

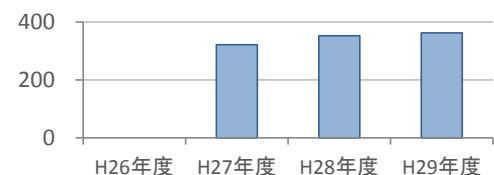


85 癌手術件数

（泌尿器科・副腎内分泌外科）

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	—	321	353	362

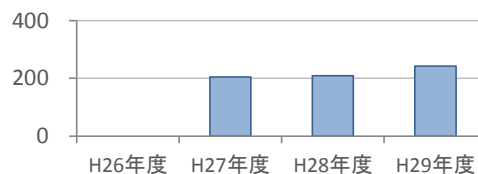


86 内視鏡手術件数

(泌尿器科・副腎内分泌外科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	-	205	209	242

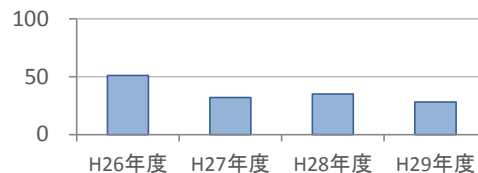


87 鼓室形成術の実施症例数

(耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	51	32	35	28



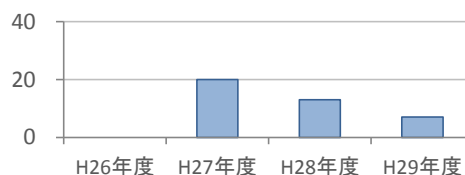
乳突削開術、鼓膜形成術及び外耳道形成術は除きます。

88 人工内耳手術の実施症例数

(耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	-	20	13	7

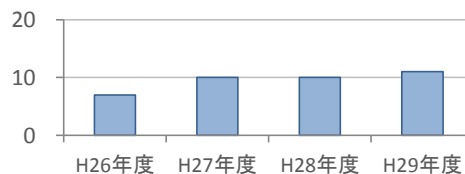


89 経口的咽喉頭悪性腫瘍摘出術

(耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	7	10	10	11

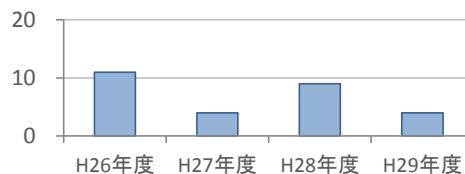


90 嚥下手術の実施症例数(平成29年度からの新規指標)

(耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	11	4	9	4



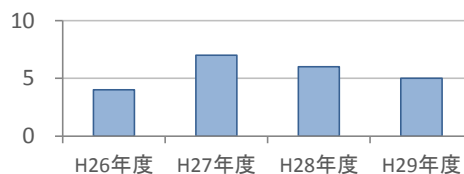
嚥下機能改善手術と誤嚥防止手術を指します。

91 後鼻切断術の実施症例数(平成29年度からの新規指標)

(耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	4	7	6	5

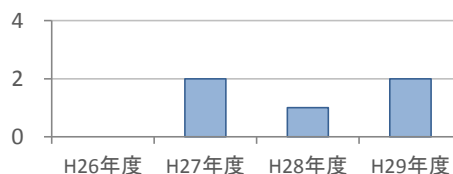


92 治療抵抗性統合失調症に対するクロザピン治療導入件数

(心身医療科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	-	2	1	2



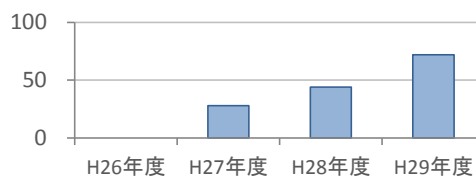
治療抵抗性統合失調症を効用効果として平成21年4月に承認されました。無顆粒球症の副作用があり、クロザピン患者モニタリングサービスの運用に基づき1~2週に一度の採血検査や血液内科との連携が要求されます。

93 修正型電気けいれん療法実施件数

(心身医療科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	-	28	44	72



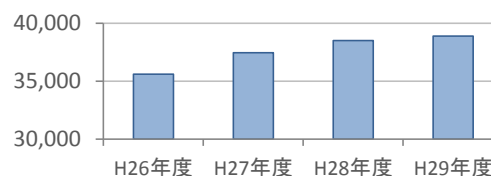
平成14年に認可された短パルス波治療器（サイマトロン）を用いた無痙攣性通電療法です。

94 画像診断症例数

(放射線科)

単位：人

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	35,612	37,462	38,525	38,897

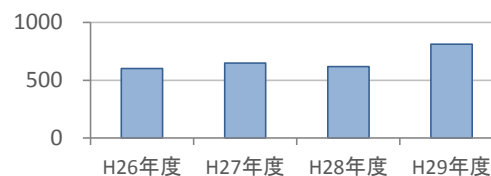


95 放射線治療症例数

(放射線治療科)

単位：人

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	601	648	617	811

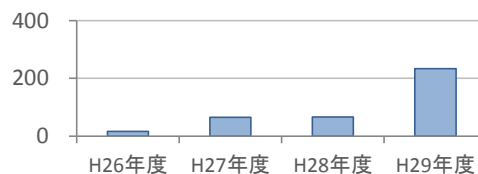


96 高精度放射線治療症例数

(放射線治療科)

単位：人

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	17	65	66	234



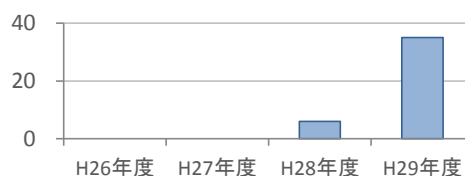
IMRT（強度協調放射線治療）、SRT（定位放射線治療）、SBRT（体幹部定位放射線治療）の合計数です。

97 塩化ラジウム（Ra-223）による治療件数(平成29年度からの新規指標)

(核医学科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	—	—	6	35



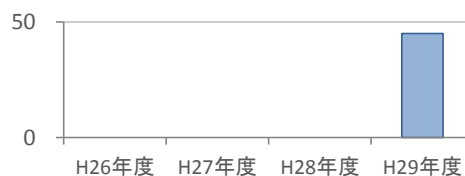
去勢抵抗性前立腺癌に対するR塩化ラジウム（Ra-223）を使用した核医学治療です。

98 入院によるRI治療件数(平成29年度からの新規指標)

(核医学科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	—	—	—	45



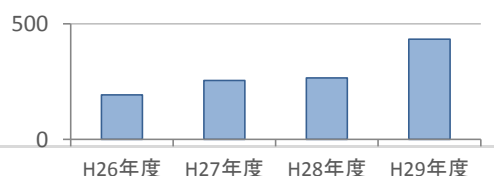
甲状腺癌に対してRI病棟で実施する放射性ヨウ素（I-131）による治療です。

99 PET-MRI検査(平成29年度からの新規指標)

(核医学科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	193	254	266	433



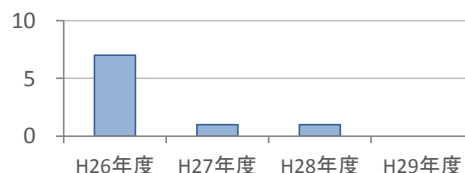
保険診療として実施したPET-MRI検査です。

100 三叉神経節ブロック

(麻酔・疼痛緩和科)

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	7	1	1	0

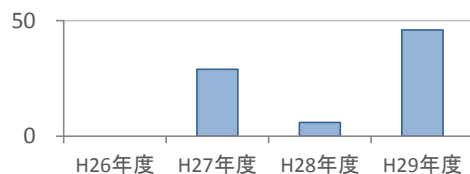


101 三叉神経末梢枝のブロック（高周波熱凝固法を含む）

（麻酔・疼痛緩和科）

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	-	29	6	46



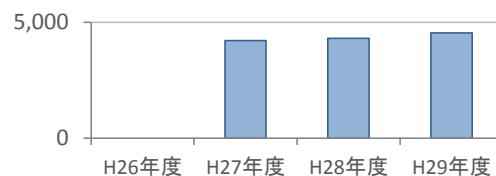
末梢枝の高周波熱凝固によるブロックを施行可能です。

102 麻酔科管理手術症例数

（麻酔・疼痛緩和科）

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	-	4,213	4,307	4,545

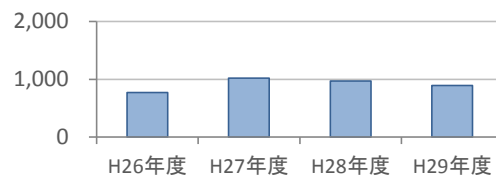


103 時間外緊急手術件数(平成29年度からの新規指標)

（麻酔・疼痛緩和科）

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	773	1,017	972	890



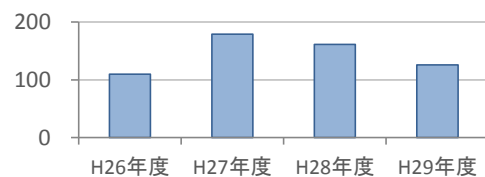
診療時間外でも必要に応じて緊急手術を常時実施できる体制であります。ここでは、手術室以外の手術も含み、時間外加算、深夜加算、休日加算が算定されたものを「時間外緊急手術」と定義します。

104 口腔外科疾患における入院手術症例数

（歯科口腔外科）

単位：例

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	110	179	161	126

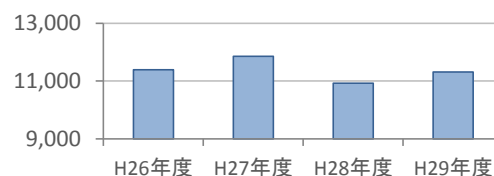


<救急医療に関する指標>

105 救命救急センター外来 来院実患者数

単位：人

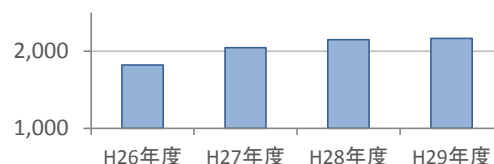
年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	11,387	11,851	10,923	11,310



106 救急車搬送患者受入数

単位：人

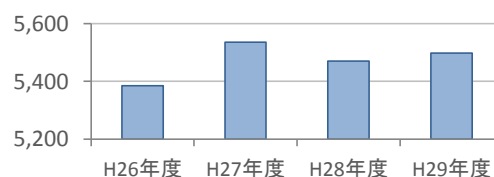
年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	1,819	2,043	2,146	2,166



107 救命救急センター 入院延べ患者数

単位：人

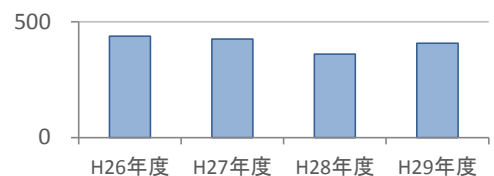
年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	5,385	5,535	5,470	5,498



108 ドクターヘリ出動件数

単位：件

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	438	425	360	407

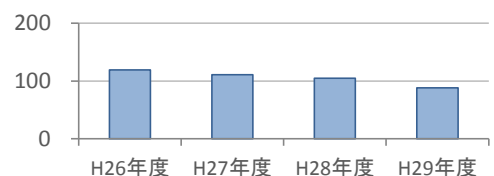


基地病院として平成20年1月28日からドクターヘリを運航しています。出動件数には施設間搬送や出動後のキャンセルも含まれます。

109 ドクターヘリ搬送患者受入数

単位：人

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
値	119	111	105	88



ドクターヘリで搬送された患者のうち、当院で受け入れた人数です。